



兄さんは、しあわせなの？

1958年、シチリアから
イタリア北部の大会
トリノへ出てきた兄弟。
時代の変化が、
強い絆で結ばれた
二人の運命を翻弄する。

1998年ヴェネチア国際映画祭グランプリ(金獅子賞)受賞

いつか来た道

così ridevano

Mario e Vittorio Cecchi Gori presentano un film di Gianni Amelio "Così ridevano" con Enrico Lo Verso e per la prima volta sullo schermo Francesco Giuffrida produttore esecutivo Mario Cotrone per la Pacific Pictures prodotto da Vittorio e Rita Cecchi Gori scritto e diretto da Gianni Amelio



ジャンニ・アメリオ監督作品 (『小さな旅人』『宣告』)

監督・脚本:ジャンニ・アメリオ
製作:マリオ&ヴィットリオ・チェッキ・ゴリ『ライフ・イズ・ビューティフル』
出演:エンリコ・ロ・ヴェルソ/フランチェスコ・ジュフリッダ
1998年/イタリア映画/124分/カラー/ドルビーSR

配給:オンリー・ハーツ+日本トラステック

ONLY
trus tech
JAPAN CO., LTD.

いつか来た道

così ridevano

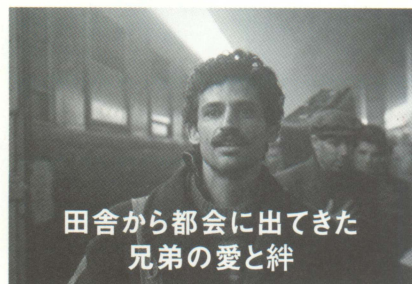
ここには、失われてしまった何かがある。

イタリアを代表するジャンニ・アメリオ監督の
ヴェネチア国際映画祭グランプリ受賞作

『小さな旅人』(92年カンヌ国際映画祭審査員特別グランプリ)、『宣告』(91年米アカデミー賞外国語映画賞ノミネート)と、今や名実共にイタリアを代表する映画作家となったアメリオ監督の『いつか来た道』の待望の日本公開です。製作は、『ライフ・イズ・ビューティフル』(99年米アカデミー賞3部門受賞)のマリオ & ヴィットリオ・チェッキ・ゴリ。

両者が組んだ本作は、北野武監督『HANA-BI』の翌年、98年のヴェネチア国際映画祭でグランプリ(金獅子賞)を圧倒的な賛同を得て受賞しました。

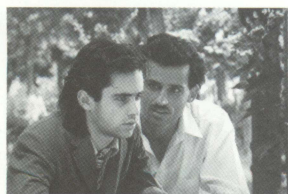
監督・脚本:ジャンニ・アメリオ「小さな旅人」「宣告」
美術:ジャンカルロ・バシリノ/衣装:ジャンナ・ジッソ
音響:アレックスサンドロ・ザノン/撮影:ルカ・ビガッツ
編集:シモーナ・バッキ
出演:エンリコ・ロ・ヴェルソ/フランチェスコ・ジュブリッダ
ロザリア・ダンツェ
1998年/イタリア映画/124分/カラー/ドルビーSR
原題:Così ridevano (英語題:The way we laughed)
配給:オンリー・ハーツ+日本トラステック
<http://www.onlyhearts.co.jp>



田舎から都会に出てきた兄弟の愛と絆

シチリア島の片田舎から、自動車メーカー「フィアット」の本拠地でもある大都会トリノへ出てきた兄弟。

無学の兄は、弟だけには教育を受けさせ学校の教師にするため、必死で働くことを決意し、弟はそんな兄を少しでも楽にしたいと願う。そんな二人に、ダイナミックな時代と、都会の逆らいがたい誘惑が襲いかかり、彼らの小さな目論見ははかなくついでようとする。そして運命のちょっとしたいたずらが、二人を思いもしない方向にいざなう…。



すべてが変わってしまった時代

物語の舞台となるのは1958年から1964年までの6年間。この時代は、空前の高度成長期で、イタリアは短期間に農業国から工業国へと変貌しました。日本でも、長嶋の登場から東京オリンピックへと至る時代で、戦争に負けた両国は同じような軌跡をたどっていました。多くの若者が夢を追い富を求めて都会へと流れていったのです。物語は6年間の各年の「ある一日」ずつに焦点を当て、それぞれ「到着」「嘘」「金」「手紙」「血」「家族」という6つの章立てで描かれています。それから半世紀近くを経て、私たちは、何を獲得し、何を失ったのでしょうか。

かく笑い、かく泣いた。

映画の原題は、「私たちの笑い方」といったようなものですが、これは50年代のイタリアの有名な雑誌の巻末にあった読者投稿覧につけられた名称。それはユーモアやジョークの投稿欄で、古臭くてもはや笑えないけれど、なんだか懐かしくて心に残ってしまう、そんなジョークが載っていたそうです。人と人が今よりもっと濃密だった時代の喜びや悲しみが満ちているこのタイトルに、アメリオ監督の想いが現れていると思います。

5/19~6/1 アンコール決定! 朝 10:45のみ



完全に再現された50年代末のトリノの街

映画は3ヶ月をかけて80ヶ所以上のロケ地で撮影され、トリノの駅の撮影では500人あまりの人たちを4日間動員しました。かつてイタリア南部から出てきた人たちの溜まり場となっていた伝説的なバー「ジジズ・ボール(Gigi's Bar)」は、昔と変わらない姿で再現されました。当時の車も200台以上が使われています。そして、今イタリアで最も注目されている若手撮影監督ルカ・ビガッツがフィルムに焼き付けた映像は、見事にその時代の空気を蘇らせてくれました。



4月14日(土)より関西独占ロードショー [4/27(金)迄]

●前売券¥1,500(当日一般¥1,800)はチケットぴあ、CNプレイガイドにて「シネフェスタ4月中有効券」をお求めください。
●シネフェスタ独自の週3回のサービスデー!! ①毎週月曜日:男性1,200円②毎週水曜日:女性1,000円③毎週金曜日:女性1,200円

地下鉄動物園前5 出口・フェスティバルゲート7F
動物園前 シネフェスタ4

☎06(6647)7188

各回入替制 10:45 1:15 3:45 6:30

シネフェスタ4
4/27(金)迄

天王寺動物園
シネフェスタ4
4/27(金)迄

地下鉄動物園前5 出口・フェスティバルゲート7F

●地下鉄動物園前・明国橋(動物園前駅)5番出口
●JR東横線・「新宮宮前」天王寺動物園より徒歩